

第1章 地方ブロックにおける社会資本整備を取り巻く社会資本整備
第1節 地方ブロックにおける社会経済の変化

A 地方ブロックの特徴 (広域地方計画を参考に記載)	B 地方の将来像 (広域地方計画を参考に記載。)	C 社会情勢の変化 (計画部会で示された6つの変化の視点について、地方の特性を踏まえそれぞれ3つ程度のトピックに分けて記載。)	
		社置計画の視点	地方の特性を踏まえた視点
A-1 土砂災害・水害リスクの高い地域に多くの人口や資産が集中	B-1 国内外の多様な交流と連携により発展する中国圏	(1) 自然災害の激甚化・頻発化、切迫	C-1-1 気候変動に伴う河川氾濫や土砂災害、地震や豪雪等の頻発・激甚化 C-1-2 平成30年7月豪雨災害等を契機とした防災意識社会への転換
A-2 中小規模の都市が分散した地域構造・道路ネットワーク未整備区間が残存	B-2 産業集積や地域資源を活かし持続的に成長する中国圏	(2) インフラの老朽化の加速	C-2-1 増大する老朽化施設への対策が必要 C-2-2 社会資本ストックの維持管理の担い手不足
A-3 歴史・文化遺産及び豊かな自然環境が存在	B-3 豊かな暮らしで人を惹きつける中山間地域や島しょ部を創造する中国圏	(3) 人口の減少・高齢化・地域的偏在	C-3-1 人口減少や高齢化、中心市街地空洞化の進行や中山間地域における集落機能低下と地域コミュニティの衰退 C-3-2 生活道路を抜け道として車両の増加に伴う歩行者及び自転車乗用者の事故が増加 C-3-3 公共交通利用者の減少と公共交通事業者不足による事業者の経営環境の悪化 C-3-4 ユニバーサル社会の実現に向けた、公共施設や交通結節点、道の駅等におけるバリアフリー化や子育て応援施設の整備推進
A-4 総面積に占める割合が全国で最も高い山地・丘陵地に小規模集落が広く分布	B-4 新たなステージにも対応する安全・安心な中国圏	(4) グローバル化の進展	C-4-1 経済発展が著しい東アジア等との近接性を活かした経済交流等の拡大 C-4-2 隣接圏域(九州、四国、近畿)との結節点として人流・物流を活性化 C-4-3 訪日外国人観光客の増加を活かし切れていないブロック内周遊に係る連携が不足
A-5 東アジア等との近接や人流・物流の結節点としての地理的な優位性	B-5 将来像において横断的に持つべき視点	(5) デジタル革命の加速	C-5-1 ICT技術を活用した業務の高度化、効率化、生産性の向上 C-5-2 情報通信ネットワーク、IoT等を活用した地域社会における生活の安全性・利便性の向上 C-5-3 ビッグデータ、AI等を活用した交通マネジメント技術等の進展
A-6 臨海部にもものづくりを中心とした産業が集積		(6) ライフスタイルや価値観の多様化	C-6-1 健康増進の意識の高まりに伴う散歩やランニング、自転車利用の増大や、自然環境に親しむ人口の増大 C-6-2 心や生活空間の豊かさの向上
A-7 顕在化する社会資本の老朽化		(7) 新型コロナウイルス感染症の拡大	C-7-1 県間移動の自粛等の影響による人流の大幅な減少 C-7-2 アフターコロナの観光需要回復のための新たな取組の兆し C-7-3 消費者意識の変化によるネットショッピング利用の増大や小口輸送の増加 C-7-4 接触回避のための他の交通手段への変更 C-7-5 通勤移動による接触機会の縮小によるテレワークの導入の拡大等やワーケーションなどの利用による働き方スタイルの変化 C-7-6 人々の暮らしやまちづくりのさらなるデジタル化

↓
参考資料-1-1

↓
参考資料-1-2

↓
参考資料-1-3

第2章 地方ブロックにおける社会資本整備のあるべき姿

中長期的な社会資本整備の基本的な考え方

- 社会資本整備の中長期的な目的と計画期間内の社会資本整備の目標
- 計画期間内の社会資本整備の目標を達成するための取組の方向性
- 持続可能で質の高い社会資本整備を下支えするための取組

第3章 地方ブロックにおける計画期間の重点目標

重点目標	小目標 (第4次地方社会におけるプロジェクトと同等レベルで、A～Cに示した内容を踏まえて3つ程度設定し記載。)	関連する地方の特徴 (小目標毎に、関連する第1章の事項の番号を記載。複数可。)		
		A	B	C
1 防災・減災が主流となる社会の実現 (激甚化・頻発化する、または切迫する水害・土砂災害・地震・津波・噴火等の自然災害に対し、速断かつしなやかな対応がなされ、住民が安心して生活を送ることができる社会をつくる)	1-1 気候変動による災害等の頻発・激甚化に対応する命を守るための事前防災の加速化・深化	A-1	B-4	C-1-1 C-1-2
	1-2 大規模地震の発生に備えた津波・高潮対策や耐震化の推進、災害に強い交通ネットワークの構築	A-1	B-4	C-1-1 C-1-2
	1-3 ブロック内外における災害発生時のリスクの低減のための危機管理対策・体制の強化	A-1	B-4	C-1-1 C-1-2
2 持続可能なインフラメンテナンス (予防保全に基づくインフラメンテナンスの本格転換による維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や、新技術等の導入促進によるインフラメンテナンスの高度化・効率化等を進め、インフラが持つ機能が本来にわたって適切に発揮できる、持続可能なインフラメンテナンスを実現する)	2-1 予防保全による老朽化対策への転換と老朽化構造物の集約化等によるトータルコストの縮減	A-7	B-4	C-2-1
	2-2 省人化・遠隔操作化、点検手法の効率化等の新技術の開発・導入により、インフラメンテナンスの生産性向上	A-7	B-4	C-2-1 C-2-2
	2-3 社会資本ストックの維持管理の担い手の確保・育成、地方自治体への技術的・財政的支援	A-7	B-4	C-2-2
3 持続可能で暮らしやすい地域社会の実現 (地域の核への集約を図りながら地域内・地域外をネットワークでつなぐ多核連携型の地域づくりを進め、テレワークや2地域居住など新たな暮らし方、働き方、住まい方を支えるための基盤を構築するとともに、高齢者、障害者、子ども、子育て世代など、全ての人が安全・安心で自由なく生活できるユニバーサルデザインのまちづくりを進め、持続可能で暮らしやすい地域社会・地方創生を実現する)	3-1 中国ブロックの持続的な発展を支えるコンパクト+ネットワーク化による都市機能の充実・強化	A-2 A-4	B-1 B-3	C-3-1 C-3-3 C-7-2
	3-2 交差点改良や通過交通の進入抑制等の交通安全対策を実施し、生活道路における歩行者・自転車中心の空間づくりを推進		B-4	C-3-2
	3-3 都市内公共交通施設と交通結節点整備により、シームレスな移動と住民の憩い・集い・語らいの場として交流を生み出す	A-5	B-1	C-3-1 C-3-3 C-7-4
	3-4 主要な鉄道駅等のユニバーサルデザイン化、高速道路のサービスエリアや道の駅における施設等の充実		B-1 B-3 B-4	C-3-4
4 経済の好循環を支える基盤整備 (ウイズコロナ・ポストコロナ時代における、持続的な経済成長の実現やリスクに強い社会経済構造の構築に向け、競争力強化等に資する社会資本の重点整備等により、経済の好循環を作り上げるとともに、ポストコロナ時代において地域経済を支える観光の活性化に向けた基盤整備を行い、地域経済を再生させる)	4-1 ものづくり産業の集積や地理的な優位性を活かした国際競争力強化のための物流・人流ネットワーク基盤整備	A-5 A-6	B-2	C-4-1 C-4-2 C-7-1 C-7-3
	4-2 中国ブロック固有の地域資源を活かした観光振興と地域資源を結びネットワークや連携の仕組み作り	A-3	B-1 B-2 B-3	C-4-3 C-6-1 C-7-2
	4-3 官民連携による都市の競争力強化等を推進し地域の経済成長を実現		B-1 B-2	C-3-1 C-4-1 C-4-2
5 インフラ分野のデジタル・トランスフォーメーション (ウイズコロナ・ポストコロナ時代の「新たな日常」も見据え、情報技術の活用、新技術の社会実装を通じた社会資本整備分野のデジタル化・スマート化により、インフラや公共サービスを充実し、働き方改革・生産性向上を進めるとともに、インフラへの住民理解の促進や、安全・安心で豊かな生活の実現を図る)	5-1 「+Construction」推進計画に基づき、ICT活用工事の拡大やBIM/CIMの導入拡大、工事・業務の平準化や連休2日の普及を図り、魅力ある建設現場を構築		B-4	C-5-1 C-7-5
	5-2 情報技術や次世代モビリティ等を活用したスマートシティの実現や防災・減災Society5.0の実現、総合交通拠点形成	A-1	B-1 B-2 B-3 B-4	C-5-2 C-7-4 C-7-6
	5-3 ICTやAI等を活用したエリア渋滞対策や交通量観測等の交通マネジメント強化		B-1 B-2	C-5-3
6 インフラ分野の脱炭素化・インフラ空間の多面的な利活用による生活の質の向上 (インフラ分野の脱炭素化等によりグリーン社会の実現を目指すとともに、インフラの機能・空間を多面的・複合的に利活用することにより、インフラのストック効果を最大化し、住民の生活の質を向上させる)	6-1 中国山地や瀬戸内海をはじめとした豊かな自然環境の保全	A-3	B-3 B-5	C-6-1
	6-2 インフラ空間再編等により、歩行者の利便増進を図る空間整備や安全快適な自転車利用環境を創出		B-1	C-6-1 C-6-2 C-7-4 C-7-5

↓
参考資料-1-4

「新型コロナウイルス感染症の拡大」に関する事項

第4章 計画の実効性を確保する方策

計画の実効性を確保する方策
(現行の地方重点で示した方策も踏まえ、現時点で可能な範囲で検討し記載。)

検討中